



## 【学校教育目標】

ふるさとつながり、仲間とともに

“在りたい未来”を創造する広谷っ子の育成

## I・I・7 阪神淡路大震災追悼集会

1月16日、阪神淡路大震災追悼集会を行いました。亡くなられた6434人の方々のご冥福をお祈りし、全校で黙祷を捧げました。校長からは、子どもたちに次のような話をしました。

- 日本は、平和な国です。人々は優しく、思いやりがあります。食べ物はおいしく、文化や芸術も素晴らしい。日本に生まれ、日本で暮らしていることを、幸せだと思います。
- けれども、忘れてはいけないことがあります。それは、日本は自然災害がとても多い国だということです。台風、豪雨、豪雪、洪水、土砂崩れ。特に多いのが、地震です。
- 世界には196ほどの国があります。地震の多さで見ると、日本はその中で、4番目くらいに多い国だそうです。それだけ私たちは大きなリスクの中で暮らしているということです。去年1年を見ると、日本では平均して1日に10回以上、どこかで地震が起きている計算になります。気づいていないけれども、私たちは地震とともに生きているのです。
- 今から31年前、1995年1月17日、午前5時46分。阪神・淡路大震災が発生しました。6434人が亡くなりました。6434人。数字としてはすぐに口にできてしまいますが、兵庫県に住む私たちにとって、決して忘れてはいけない数字です。その一人ひとりに、家族があり、友だちがいて、夢がありました。これから先も、まだまだ続くはずだった「自分に与えられた時間」がありました。この地震では、亡くなった方の多くが、地震発生直後、ほんの数秒の強い揺れによって、命を亡くしています。
- 前日は、当たり前で、でも幸せな、いつもの休日でした。家族でスキーに出かけた人たちがいました。親子で温泉に入った人たちもいました。大好きな唐揚げを、おいしそうに食べていた子どももいました。「せっかくだからもう一晩泊まっていけよ」とお父さんに言われた大学生もいました。そのお父さんは、今でもその一言を悔やみ続けています。
- 生と死を分けたものは、いったい何だったのか。私たちは、そのことを知らなければなりません。文明や科学がどれほど発達しても、地震をなくすことはできません。けれども、災害による被害を減らすことはできます。そのため大切なのが、「備えておくこと」です。今日は、自分の命を守るために備えについてぜひ考えてほしいです。
- 亡くなった6434人の方の家族や友だち、恋人など、残された人々は31年たった今も、「あの日の前に戻りたい」という思いを、変わらず持ち続けています。1月17日を、阪神・淡路大震災の教訓を学び、みんなにとっての「命を考える日」にしましょう。



当時の映像が流されました

11月に神戸の人と防災未来センターを訪れた5年生は紙灯籠を持って会に参加しました。その優しい光の中、全校生で「しあわせはこべるよう」を歌いました。子どもたちの歌声は実にまっすぐに響きました。「亡くなった方々の分も、毎日を大切に生きていこう---」。広谷っ子らしい、素直な思いが届くような歌声でした。阪神淡路大震災の記憶を受け継いでいくために、この1曲が果たしている役割は本当に大きいと思います。



「しあわせはこべるよう」を歌いました

兵庫県では4人に一人が震災後生まれになったと言われ、記憶の継承はがんばりどころです。震災の教訓を受け継いでいくことは防災教育の大きな使命です。ぜひご家庭でも、防災について話し合ってみてください。

## ■ 新1年生入学説明会実施 1月16日

4月から広谷小学校に入学する新1年生保護者様を対象に入学説明会を実施しました。今春には30名の新入生が入学してくる予定です。2月には5・5交流（5歳児と5年生の交流会）や、体験入学会を実施します。新入生が、小学校生活へのわくわくドキドキをふくらませ、元気よく入学してくるのを心待ちにしています。

養父市出身のプロ野球選手、阪神タイガースの坂本誠志郎選手が、日本代表としてWBCに選ばれました。世界一を目指す舞台に立ちます。養父市にとって大きな誇りです。

坂本選手は、160kmの豪速球を投げる投手でも、ホームランを量産する強打者でもありません。新聞やテレビで、毎日のように派手に取り上げられるような選手でもないでしょう。それでも代表に選ばれた理由は、とてもシンプルだと思います。「この人になら任せられる。」そう思われる存在だからではないでしょうか。

捕手は、投手の不安を受け止め、試合全体を見渡し、チームを支える役割です。坂本選手は、派手な結果よりも「チームのために何ができるか」を考え続けてきました。その積み重ねが、揺るぎない信頼となり、日本代表という大役につながったのだと思います。

この姿は、私たちが子どもたちに大切にしてほしい姿でもあります。約束を守ること、人の話を聞くこと、困っている人に寄り添うこと、失敗から逃げずにやり直すこと。こうした日々の行動が、確かな信頼を育てます。

夢は、特別な人だけのものではありません。自分の役割を大切にし、人としての在り方を積み重ねた先に、“在りたい未来”が開けてくるのだと思います。養父市の先輩、坂本誠志郎選手は、子どもたちにとって、この上ないロールモデルです。

## 2月のおもな行事予定

2日 (月) 登校指導	17日 (火) わんぱくタイム 3年豆腐作り(2~4校時)
3日 (火) わんぱくタイム 書写巡回展 PTA 役員会	18日 (水) 一斉下校 14:55
4日 (木) 5・5交流(2・3校時) 一斉下校 14:55	19日 (木) PTA新旧役員会 (新役員会①)
5日 (木) 卒業記念写真撮影 13:40	20日 (金) 学年発表 (1年) 薬物乱用防止教室 (6年)
6日 (金) 全校朝会 委員会活動	23日 (月) 天皇誕生日
10日 (火) わんぱくタイム 代表委員会 PTA全体委員会	24日 (火) わんぱくタイム 学校運営協議会 13:55
11日 (水) 建国記念の日 そあんくんの日①	25日 (水) そあんくんの日 一斉下校 13:30 スーパーそあんくんクラブ 学校保健委員会 14:00
13日 (金) 登校指導 児童朝会 オープンスクール (授業参観) 一斉下校 14:55	27日 (金) こども園体験入学 一斉下校 14:55
16日 (月) 教員採用前スクール体験 2名 (~2/18)	